

九州運輸局メールマガジン 平成23年12月8日 第149号
～九州の明日を拓く運輸と観光～
九州運輸局HPアドレス <http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。

目次

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報（12月1日～12月7日掲載分）
 - 各種情報
 - 分野別情報
 - 報道発表
 - お知らせ
- 2 現場レポート
- 3 地域情報ファイル「あの街、この街」

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報（12月1日～12月7日掲載分）

各種情報

《入札・契約情報》

- ・企画競争結果の公表

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/kikaku_kekka/111205.pdf

- ・企画競争実施公示（12/2付け2件）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI

- ・物品・役務入札公示（12/6付け）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU

《行政処分状況》

- ・自動車整備事業者の法令違反に対する行政処分等の状況について

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/seibi/seibi.htm>

分野別情報

《物流》

- ・倉庫業の新規登録状況（平成23年10月分）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/souko/2310.pdf

報道発表

- ・シンガポールの教育関係者を招請し、九州の教育旅行関連施設等をPRします！

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-1201-kokusai_2.pdf

- ・震災復興支援「徒歩で日本を」トーマス・クーラー氏のご紹介

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-1201-kokusai_4.pdf

- ・韓国のブロガーを招請し個人旅行向けの観光素材をPRします！

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-1201-kokusai_6.pdf

・九州の魅力的な観光地をタイの旅行会社にPRします！

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-1201-kokusai_3.pdf

・中国からの教育旅行誘致促進のため、山東省の教育関係者を九州に招請します！

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-1201-kokusai_1.pdf

・韓国KTXと九州新幹線を利用した韓国人観光客の誘客促進を目指し韓国鉄道公社等関係者を招請します！

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-1201-kokusai_5.pdf

・中国からの誘客促進を図るため、江蘇省等より旅行エージェントを九州に招請します！

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-1206-kokusai_1.pdf

・中国からの教育旅行誘致促進のため、天津市の教育関係者を九州に招請します！

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-1206-kokusai_2.pdf

お知らせ

・九州運輸局ホームページの閲覧停止について

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2011-1201-soumu.htm

2 現場レポート

平成23年度鉄道関係年末年始の輸送等に関する安全総点検の標語・ポスターが決定

九州鉄道協会が募集したところ、管内鉄・軌道事業者から標語1082作品、ポスター19作品の応募があり、九州運輸局鉄道部及び九州鉄道協会の選考委員による慎重な審査により、入選が決定しました。

標語の部1位から3位及び佳作、ポスターの部は1位を印刷し、期間中（平成23年12月10日～平成24年1月10日）に関係事業所の職場・駅等に掲示されることになっています。

各部門の上位入選は次のとおりです。（敬称略）

【標語の部】

一位：「事故防止 人に頼るな 任せるな」

肥薩おれんじ鉄道 岩下 隆次

二位：「慣れすぎて 省く基本が 事故のもと」

西日本鉄道車両整備課 猪口 哲司

二位：「安全は 意識と努力の 積み重ね」

南阿蘇鉄道 西明 しおり

三位：「運転は無駄なく 無理なく 油断なく」

西日本鉄道本社 今里 栄佑

三位：「指差喚呼 意識してこそ 意味がある」

平成筑豊鉄道 矢野 豊

三位：「ヒヤリ・ハット 生かす職場に 事故はなし」
松浦鉄道 沼口 隆行

【ポスターの部】

一位：くま川鉄道 前田 重行
二位：西日本鉄道 大隈 信也
三位：福岡市交通局 権藤 健

【ポスターの部】の一位の作品については、次のURLからご覧になれます。
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_149_1.pdf

(鉄道部 安全指導課)

定例記者会見を実施しました！

九州運輸局は、12月5日(月)に平成23年度第4回定例記者会見を開催しました。会見項目は、以下のとおりです。

1 年未年始の輸送等に関する安全総点検の立ち入りを実施します！

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-1205-soumu.pdf>

2 東日本大震災の九州観光への影響 平成23年12月

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-1205-kokusai_1.pdf

3 宿泊旅行統計調査 = 九州版

～平成22年確定値分と平成23年1月から6月分について～

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-1205-kantika_2.pdf

4 平成24年外国クルーズの九州への寄港予定(当局把握分)

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-1205-kokusai_2.pdf

5 各地で地域公共交通の取り組みがスタートします！！

～地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)を活用した取り組みをまとめました～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/2011-1205-koutuukikaku.htm>

(総務部広報対策官)

3 地域情報ファイル「あの街、この街」

「ヤー、ハア！」

～長崎くんちデビュー～

長崎の澄んだ秋空の下10月7・8・9日の3日間「長崎くんち」が催されました。

「長崎くんち」は、長崎市にある諏訪神社の秋祭のことで、三百七十余年の伝統を誇る国指定重要無形民俗文化財となっています。市内の59町が7年に一度当番が巡ってきて龍踊(じゃおどり)や船回しなど多様な奉納踊りを披露します。

私は、今年、大黒町の唐人船という山車(だし)を曳き回す、「根曳(ねびき)」として初めて参加しました。

大黒町は長崎駅前周辺ですが、かつて、中国船の出入港で賑わっていたことから唐人船を奉納するようになりました。

その唐人船は重さが約4トンもあり、「長崎くんち」で奉納される船の中では重量級の船です。船に乗っている子ども達の太鼓や銅鑼の音に合わせて「ヤー、ハァ！」というかけ声を出して前進や後退させたり、回転させたりする演しものです。「ヤー、ハァ！」とは中国で福を招くとされている言葉です。

くしくも、今年は、「平成版唐人船」ともいえる長崎～上海航路復活の年でもあり感慨深いものがあります。

「根曳き」の練習は、1月の自主トレから始まり、6月の「小屋入り」で本格的な練習開始となります。夏の暑い時期も毎日練習をして、船回しの一連の動作を覚える事が出来たのは8月のお盆前でした。

お盆過ぎからは、「場所踏み」という踊り場での本番を想定した練習を何度も行うため、手の皮はむけて、マメもつぶれ、練習中に倒れる人が出るなど体力の限界を超えることもありました。また、意見のぶつかり合いや、OB等から怒鳴られたり叱責されたり熱い指導で、疲労困憊の日々が続きました。

そのような練習を積み重ねて、10月7日の本番を迎えました。

当日の天気は快晴で神聖なる3日間の始まりを迎えるには最高の初日となりました。

大黒町には、町役員にノーベル化学賞受賞者の下村氏、船の総大将として駐長崎中国総領事の李氏というVIPも参加して頂きました。

長崎検番によるあでやかな本踊りの後、いよいよ唐人船の出番です。少し緊張しましたが、練習以上の最高の船回しが出来ました。満員の観衆からも「モチコーイ！」のアンコールを何度も貰いました。

「長崎くんち」期間中、「庭先回り」で長崎市内の官公庁、各家や店などに3日間で約1,000軒を「ヤー、ハァ！」福が来ますように！と願いを込めて回りました。疲れ果てて立っているのも辛いくらいでしたが、多くの人の支えや声援でまた力が湧いてきて、頑張ることができたのは驚きでした。

3日間、朝から晩まで声が出なくなるまでやりきり、最後は、住民や手伝いをしてくれた方、応援してくれた多くの方々から、たくさんの温かな拍手で迎えられました。全てが終わった瞬間、私は自然と涙が溢れ根曳きどうし抱き合っ泣きました。根曳きの皆が熱い思いを持って頑張ってきて全ての力を出し切ったことで「長崎くんち」の「唐人船」の歴史を7年後に最高の形で無事に繋ぐことが出来ました。

「長崎くんち」は3日間のお祭りですが、10月の本番に向けて準備や練習など早いところでは1月から始まっています。各踊り町は7年に1度の大役に向けて、

子供からお年寄りまで町中で伝統を守り引き継ぎ、思いを込めて最高の奉納踊りをできるように頑張っています。

来年は今年と違う演しものが奉納されますので、ぜひ、練習風景からのぞいて見てください。きっと、一生懸命練習に励んでいる姿を見ると、本番の「長崎くんち」で応援したくなりますよ。

「長崎くんちデビュー」の様子は、以下のURLをご覧ください。
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_149_2.pdf

(長崎運輸支局 田中敏也)

【編集部より】

編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail : mm-kyushu@qst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

九州運輸局メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html